

静岡科学館「ティンバライズ建築展」



木造建築の魅力や可能性を紹介した「ティンバライズ建築展」静岡市駿河区の静岡科学館で。みる。

新会長に立道氏

県耐震化推進協

県内の建築関係11団体

でつくる

県住宅・

建築物耐

震化推進

協議会の

立道幸男氏



本年度総会が23日、静岡市葵区の県産業経済会館で開かれ、新会長に県建築士事務所協会長の立道幸男氏(65)を選んだ。

会長の交代は、2003年に同協議会が発足して初めて。立道会長は「15年度末までに耐震

補強助成2万戸」という県の目標達成に向け、力を合わせていきたい」と抱負を語った。

総会後、講演会も開かれ、東京大生産技術研究所の腰原幹雄准教授(木質構造学)が、「木造建築物の耐震性能」につい

て説明した。腰原氏は、伝統的な建築物の耐震実験の映像を見せ、「古い建物でも耐震補強すれば相当程度耐えられる。建

物の文化的価値や快適な居住空間性を考えながら耐震性を上げる工夫が大切」などと話した。

木造建築の可能性や魅力を知ってもらう「ティンバライズ建築展」都市木造のフロンティア

ア」が24日、静岡市駿河区の静岡科学館でスタートした。高層ビル用の木造の柱など、木材の新しい生かし方を紹介している。8月1日まで。

住宅から高層ビル 木造の可能性紹介

東京を中心に活動する建築家や研究者らでつくる「チームティンバライズ」(代表・腰原幹雄東京大生産技術研究所准教授)などの主催。

2000年に建築基準法が改正され、木造建築物の高さや延べ床面積の規制が撤廃された。

全国で、少しずつ木造の中層集合住宅などが建てられているという。

会場では高さ30メートルの木造高層ビル向けに耐久性や耐火性を持たせた柱やはり、木材を不規則に組んだ格子の壁、花びら状の天井など七つの工法、技術を紹介している。親子連れなどが訪れ、足を止めて見入っていた。

腰原代表は「木造建築の可能性が広がっていることを多くの人に知ってほしい。地域の森林資源を考えると、か

けにもしたい」と話した。28日午後2時から同館で、「静岡県における木造建築の可能性」と題した腰原代表らによるトークイベントも行う。

「静岡県における木造建築の可能性」と題した腰原代表らによるトークイベントも行う。